

2024年4月23日

月島JFEアクアソリューション株式会社

「小山水処理センター汚泥処理・有効利用施設整備及び運営事業」を開始

月島JFEアクアソリューション株式会社（以下、「TJAS」、社長：鷹取 啓太）を代表企業とする企業グループ（以下「TJASグループ」）は、小山市（市長：浅野 正富）と「小山水処理センター汚泥処理・有効利用施設整備及び運営事業」（以下「本事業」）に係る契約に基づいて施設を建設し、事業を開始しましたのでお知らせします。

小山水処理センターは1976年の供用開始から年数が経過しており、汚泥処理設備においては2004～2007年度に重力濃縮設備、汚泥脱水設備の改築を行っているものの、未改築の汚泥消化設備は老朽化が著しい状況でした。また、機能面では濃縮汚泥全量を汚泥消化設備に投入できず半分程度は直接脱水していることから、下水汚泥の持つエネルギーを全て有効利用できない状況でした。

本事業は、汚泥消化設備全体の改築、汚泥全量消化に伴う関連施設の新設・増設、消化ガス発電設備、固形燃料化設備を新設し、コストおよび温室効果ガス排出量を削減するものであります。事業方式は、民間のノウハウ、創意工夫を活用しさらに事業効果を引き上げるため、汚泥処理施設全体を事業範囲とするPFI事業として実施します。TJASグループは、基本協定、事業契約を締結後、施設の設計・建設に着手し、2024年4月より運営を開始しました。今後は、2044年3月までの20年間にわたり維持管理・運営を行います。

TJASは、下水処理場における下水汚泥処理に強みを持ち、汚泥消化設備、固形燃料化設備、消化ガス発電設備、固定価格買取制度（FIT）を活用した発電事業など豊富な実績を有します。今後もバイオマス資源である下水汚泥の有効利用を推進することで、地球温暖化防止と脱炭素社会・循環型社会の構築に貢献してまいります。



設備外観



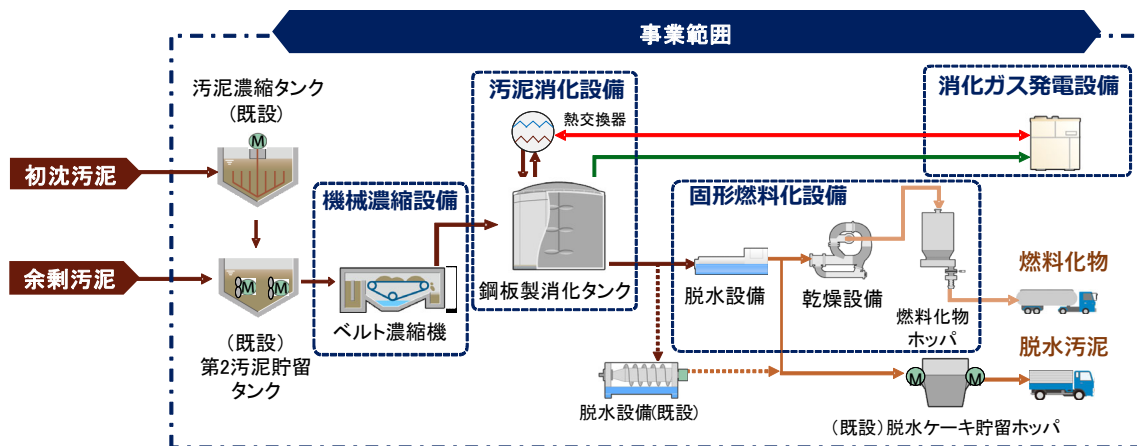
運営開始記念式典

小山水処理センター汚泥処理・有効利用施設整備及び運営事業の概要

(1) 主要施設

導入する設備は、汚泥濃縮設備は豊富な実績を持つベルト濃縮機、汚泥消化設備は高い耐久性・安全性を持つ鋼板製消化タンク、固形燃料化設備は国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）において技術評価を得て技術導入ガイドラインが策定された脱水乾燥システムを採用しています。また、汚泥消化設備で発生する消化ガスを燃料として固定価格買取制度（FIT）を活用した発電事業を行います。

	汚泥濃縮設備	汚泥消化施設	消化ガス発電設備	固形燃料化設備
概要	ベルト濃縮機	鋼板製消化タンク	ガスエンジン	遠心脱水機 円環式気流乾燥機
仕様	1基	1基	200kW	1系列



(2) TJAS グループ

代表企業	月島 JFE アクアソリューション株式会社
構成員	株式会社東光高岳 株式会社ウォーターエージェンシー
協力企業	東洋建設株式会社 株式会社板橋組 株式会社斉藤組 月島ジェイテクノメンテサービズ株式会社

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島ホールディングス株式会社 広報室 TEL 03-5560-6503

《消化ガス発電事業に関するお問い合わせ先》

月島 JFE アクアソリューション株式会社 戦略企画部 TEL 03-5560-6540

以上